

**製品名: CD3- $\delta$  ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08385**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	20kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD3D
別名	CD3D; T3D; T-cell surface glycoprotein CD3 delta chain; T-cell receptor T3 delta chain; CD antigen CD3d
遺伝子 ID	915.0
SwissProt ID	P04234
免疫原	抗血清はヒト N 末端 CD3 デルタ由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 7-56

**背景**

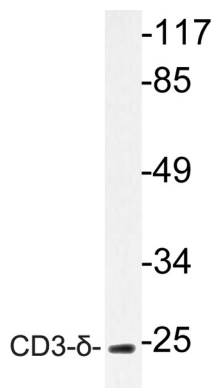
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、T細胞受容体/CD3複合体 (TCR/CD3複合体) の一部であり、T細胞の発達とシグナ

ル伝達に関与しています。コードされる膜タンパク質は CD3 複合体のデルタサブユニットを構成し、他の 4 つの CD3 サブユニットとともに、TCR $\alpha/\beta$  または TCR $\gamma/\delta$  に結合して T 細胞表面に TCR/CD3 複合体を形成します。この遺伝子の欠陥は、常染色体劣性 T 細胞陰性/B 細胞陽性/NK 細胞陽性の重症複合免疫不全症 (SCIDBNK) の原因となります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見つかっています。他のバリエーションも存在する可能性があります、それらの転写産物の全長は未だ解明されていません。 [RefSeq 提供、2009 年 2 月],注意: ここに示す配列は Ensembl 自動解析パイプラインから得られたものであり、予備データとしてお考えください。疾患: CD3D の欠陥は、常染色体劣性 T 細胞陰性 / B 細胞陽性 / NK 細胞陽性の重症複合免疫不全症 (SCIDBNK) [MIM:608971]の原因です。SCID は、遺伝的および臨床的に異質な希少先天性疾患群であり、体液性免疫と細胞性免疫の両方の障害、白血球減少症、および抗体レベルの低下または欠損を特徴とします。SCID の患者は、乳児期に日和見菌による反復性かつ持続的な感染症を呈します。SCID のすべてのタイプに共通する特徴は、T 細胞発達の欠陥により T 細胞を介した細胞性免疫が欠如していることです。機能:CD3 複合体はシグナル伝達を媒介します。オンライン情報:CD3D 変異 db,類似性:1 つの ITAM ドメインを含みます。サブユニット:T リンパ球の TCR/CD3 複合体は、細胞表面で共発現する TCR アルファ/ベータまたは TCR ガンマ/デルタヘテロダイマーと、ガンマ、デルタ、イプシロン、ゼータ、イータと呼ばれる CD3 の不変サブユニットで構成されます。、

## 研究分野

造血細胞系統;T 細胞受容体;原発性免疫不全症;

## 画像データ



CD3- $\delta$  抗体を使用した A549 細胞溶解物のウェスタンブロット分析。



CD3- $\delta$  ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析